

平成17年10月11日

「広島遠隔学習コンテンツ流通実験ラボ」の実証実験の実施について ～産学官連携コンソーシアムによる講演と リアルタイム配信実験を10月20日に実施～

「広島遠隔学習コンテンツ流通実験ラボ」()では、遠隔学習コンテンツの地域利活用モデルの創出を検討する一環として、広島大学大学院社会科学研究所の吉田修教授による講演会を実施し、その内容をリアルタイムに配信する実験を10月20日(木)に行います。

「広島遠隔学習コンテンツ流通実験ラボ」

広島大学、広島市教育委員会、株式会社エネルギア・コミュニケーションズ(本社：広島県広島市、取締役社長：佐藤 稔)、株式会社広島シティケーブルテレビ(本社：広島県広島市、取締役社長：横田 徹)、株式会社総合広告社(本社：広島県広島市、取締役社長：平賀 光明)、株式会社Dキューブ(本社：広島県広島市、代表取締役：池田 幸治)、株式会社デジタルイズ(本社：広島県広島市、代表取締役：藤本 英俊)及びダイキン工業株式会社(本社：大阪府大阪市、取締役社長：岡野 幸義)で構成するコンソーシアムで、中国情報通信懇談会ブロードバンドコンテンツ部会内に本年3月に設置されました。

本ラボは総務省中国総合通信局の支援を受けて、遠隔学習コンテンツの地域利活用モデルの創出を目的とし、コンテンツ提供(大学)、コンテンツ利用(市民の生涯学習)及びネットワーク配信(通信・放送事業者、Web制作事業者)の産学官の連携により検討・実験等の取り組みを行っています。

1. 講演会の概要

(1) 講演者と講演内容

講演者：広島大学大学院社会科学研究所 吉田修教授

講演内容：「中国・韓国・日本と東アジアの関係」

(2) 実施日時及び会場

日時：平成17年10月20日(木) 18時30分～20時

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ マルチメディアスタジオ

(広島市中区袋町6-36)

(3) 講演対象者

講演聴講希望者 50名程度

(4) 講演会参加申込方法

講演会に参加を希望される方は、10月17日(月)までに、所属、氏名及び連絡先を明記の上、電話又はFAXでお申し込みください。

席に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

(申込先) 株式会社総合広告社 早川

電話：(082)511-0246 FAX：(082)511-0248

2. リアルタイム配信実験の概要

(1) 実験内容

1の講演実施に合わせ、講演会場と広島市二葉公民館(広島市東区東蟹屋町9-34 東区総合福祉センター6F)との間でリアルタイムの映像配信を行い、遠隔授業に関する評価試験を実施します。映像配信と同時に蓄積した映像をもとにDVDを制作し、希望する参加者へ後日配布します。

あわせて講演参加者を中心にコンテンツのニーズや有料配信などに関する意識調査を行い、コンテンツの制作・流通に関する課題の検討を行います。

実験のイメージは別紙のとおりです。

(2) 実験の特徴および目的

今回はダイキン工業株式会社で開発した講演中継配信システムを用い、MPEG-4形式の高品位な画質でプレゼン資料と講演者のカメラ映像など複数画面のストリーミング配信を二葉公民館へ行います。このサーバにより映像の配信と同時に蓄積もリアルタイムで行い、DVD作成用の映像素材を保存します。

これまで遠隔地への講義映像の配信は、映像専用の回線を利用するのが一般的で、インターネットを利用し高品位な複数映像を配信するのは、教育分野では新規の取り組みとなります。

また広島大学の協力により、講演についてライブ配信やDVD配布する際の権利処理についても課題整理を行います。

今回の実験を通じ、講演のリアルタイム配信及び映像蓄積を行う場合のネットワークやシステムの課題把握、コンテンツの権利処理方法確立、提供方法の課題把握やコンテンツへのニーズや課金に関する意識調査を行い、最終的なビジネスモデルのプロトタイプを提案することを目的としています。

以上

講演会、実験に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

【講演会について】

株式会社総合広告社 早川 電話番号 082-511-0246

【実験について】

株式会社エネルギー・コミュニケーションズ 営業企画部 河田

電話番号 082-523-3003

実証実験イメージ図

